

④第4学年 单元配列表

単元目標 世の中の様々な人々に目を向け、交流したり体験活動をしったりする中で、高齢者や障害のある方々などの思いや考えに気が付き、福祉的な見方・考え方をもち、自己との関わりについて考え、これからの行動や生き方に生かすことができる。

4月 5月 6月 7月 8月・9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

**「福祉」とは？～様々な人に目を向けよう～
(20時間)**

○「福祉」とは何かを知る。
(バリアフリーやユニバーサルデザインという言葉もおさえる)

○身体障害者・聴覚障害者・視覚障害者についての情報を調べる

○調べたことを整理し、模造紙等にまとめる。

お互いのよさを発見！～地域の方との関わりの中で～ (30時間)

○福祉の里や特別支援学校を見学を通した学びを生かし、高齢者と関わってみる。

○関わってみた中で、知りたい情報について集める。

○インタビューしたことや調べたことを整理し、やってみたいことを書き出す。

○話し合いをして、高齢者と仲間になれるような企画(交流会)を立てる。

**仲間になろう！～手を取り合える地域を目指して～
(20時間)**

○交流したことを生かし、改善点等を考える。

○さらによい交流会ができるよう、情報を集める。

○交流会に向けて、集まった情報を整理・分析する。

○考えたことを基に、高齢者と交流する。

活動(24日) 活動(9日) 活動(17日) 活動(13日) 活動(6日) 活動(16日) 活動(10日) 活動(3日) 活動(1日)	活動(24日) 活動(9日) 活動(17日) 活動(13日) 活動(6日) 活動(16日) 活動(10日) 活動(3日) 活動(1日)	活動(24日) 活動(9日) 活動(17日) 活動(13日) 活動(6日) 活動(16日) 活動(10日) 活動(3日) 活動(1日)
福祉とは何かを知る 身体障害者・聴覚障害者・視覚障害者についての情報を調べる 調べたことを整理し、模造紙等にまとめる	お互いのよさを発見！～地域の方との関わりの中で～ 福祉の里や特別支援学校を見学を通した学びを生かし、高齢者と関わってみる 関わってみた中で、知りたい情報について集める インタビューしたことや調べたことを整理し、やってみたいことを書き出す 話し合いをして、高齢者と仲間になれるような企画(交流会)を立てる	仲間になろう！～手を取り合える地域を目指して～ 交流したことを生かし、改善点等を考える さらによい交流会ができるよう、情報を集める 交流会に向けて、集まった情報を整理・分析する 考えたことを基に、高齢者と交流する

SDGsとの関連

探究課題 障害をもつ人々のための創意工夫と、共生社会に向けての取り組み

課題の 設定 課題の 収集 整理・ 分析 まとめ・ 発表	小単元1 (20)	小単元2 (30)	小単元3 (20)
	「福祉」とは？～様々な人に目を向けよう～	スポーツにはどんな工夫があるの？ ～バラスポーツを通して～	社会にはどんな工夫があるの？～バリアフリーを通して～
	世の中にはどんな人があるの？	障害のある人でもできるバラスポーツには、どんな工夫があるのか。	障害のある人や、高齢者、妊婦さん、外国人など、それぞれの人のために、世の中にはどんな工夫があるのか。 国語科
	障害のある人や、お年寄り、妊婦さん、外国人などはどんな気持ちなのか。アイマスク体験や車いす体験などの体験活動をする。 道徳科	「明日チャレ！」や調べ学習を通して、バラスポーツの工夫について知る。 体育科	福祉の量や、和光特別支援学校などに見学に行き、建物の工夫（バリアフリーやユニバーサルデザイン）について調べる。手紙や点字などのコミュニケーションツールについても調べる。
	体験を通して、感じたことや疑問に思ったことを中心に、当事者の話を聞く。	ポッチャセットを活用してポッチャを体験する。ほかにもやりたいバラスポーツを学校でできるように考える。	見学や調べ学習をもとに、栄小中学校と比べて、栄小中学校にもあったらいいなと思うものを考え、実現させるために自分たちができることを考える。
	自分が一番興味をもったことを中心に調べ、まとめたことを新聞にする。 国語科	体験ブースを作り、バラスポーツ体験会を行う。 国語科	自分が考え、実践したことをまとめ発表する。

目標を実現 するに ふさわしい 探究課題	単元の評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
と、障 害を もつ 人々 のた めの 取 組 み	①福祉とは何か、見学やインタビュー、資料を通して、互いに助け合うことでみんなが幸せに暮らしていけるということを理解している。 概念的な知識	①地域で暮らす高齢者の思いから、自分たちにできることは何か課題をつくり、解決の見通しをもっている。 課題の設定	①課題解決に向けて自分にできることに気付き、探究活動に進んで取り組もうとしている。 自己理解・他者理解
	②見学や体験で感じたことや疑問に思ったことを、質問したり、興味をもったことについて調べたりして情報を得ることができる。 技能	②地域で暮らす高齢者の思いや自分たちにできることについての必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。 情報の収集	②自分と違う意見や考えを生かしながら協働して学び合おうとしている。 主体性・協働性
	③目的に応じて道具やICT機器を使用しながら試したり練習したりしたことを生かし、参加者と適切に関わっている。	③地域で暮らす高齢者の思いから自分たちにできることを考え、実現に向けて観点に合わせて情報を整理し考えている。 整理・分析	③世の中の様々な人々について知る中で、自分はどのように関わっていくか考え、交流できた自分の成長に自信をもち、活動を振り返ろうとしている。
	④福祉の観点から新しい見方・考え方ができるようになったのは、障害のある方や高齢者など、世の中の様々な人々の気持ちを理解し、探究的に学習してきたことの成果であることに気が付いている。 探究的な学習のよさの理解	④地域の高齢者と仲間になるために、知ったことと交流方法を関連させながら分かりやすく表現している。 まとめ・表現	④地域の高齢者と仲間になりたいという目標の実現に向けて、試行錯誤しようとしている。

